



■サッカーなら どんな障害も超えられる！■

より多くの方がスポーツを楽しめる社会に

■「インクルーシブ」という考え方

皆さんは「インクルーシブ」もしくは「インクルージョン」という言葉を聞いたことがありますか？

英単語としては「包含する」とか「含む」という意味合いで使われますが、教育や社会に関わり使われる時には「すべての人を一緒に・・・」「障がい者と健常者を分けずに・・・」といった意味合いで用いられます。

学校やクラスを分けずに、同じ場で共に学ぶことができるようにしていこうというもので、これは、これまで必ずしも十分に社会参加できるような環境になかった障害者等が、積極的に参加・貢献していくことができる社会＝「共生社会」を実現していくための重要な取り組みです。

■「混ざる」ことが大事

ここ何度かの、オリンピック・パラリンピックをきっかけに、障がい者スポーツへの関心は高まっていると思いますが、メダルを争うような一部のトップアスリートが話題になっていることが多く、広く障がい者スポーツ、さらには障がい者への理解が深まっているとは言い難い状況ではないでしょうか。

お互いを認め合うためには、お互いを知ることが必要ですが、そのためには、何より「混ざる」「混ぜる」ことが大切だし効果的です。

混ぜあって一緒にやってみることで、お互いに分かることってたくさんあります。

社会の中にはいろいろな人がいることが本来の姿であって、妙に壁をつくりわけ隔ててしまうことで、お互いのことがわからなくなり、他者を認められない、排斥するような社会ができてしまうのではないのでしょうか。

パラリンピックへの関心のひろまりにあわせて、スポーツの世界から、「混ぜこぜ」が当たり前の社会を作っていくことができるのではないのでしょうか。

■JIFFの設立

JIFF＝日本障がい者サッカー連盟が昨年4月に設立されました。JIFFには、日本アンパティサッカー協会（切断障がい）、日本CPサッカー協会（脳性麻痺）、日本ソーシャルフットボール協会（精神障がい）、日本知的障がい者サッカー連盟（知的障がい）、日本電動車椅子サッカー協会（電動車椅子）、日本ブラインドサッカー協会（視覚障がい）、日本ろう者サッカー協会（聴覚障がい）といった7つの障がい者サッカーの組織が参加しています。

日本サッカー協会のグラスルーツ宣言に基づく取り組みの一環として進められてきたもので、「広くサッカーを通じて、障がいの有無に関わらず、誰もがスポーツの価値を享受し、一人ひとりの個性が尊重される活力ある共生社会の創造に貢献する」ことを理念に掲げています。

キャッチフレーズは「サッカーなら、どんな障害も超えられる」です。

■いくつかの紹介

◆アンパティサッカー（切断障がい）

主に上肢又は下肢の切断障がいを持った人々により行われる種目です。フィールドプレイヤーは下肢切断者、GKは上肢切断者。クラッチと呼ばれる杖を使って、片足でプレイします。クラッチでボールをコントロールしてはいけません。



これで25分ハーフも試合を考えると、並大抵の運動神経と体力ではもたないことがわかります。実際に代表クラスの方の動きをみると、動きの素早いこと！ 超人に見えます！

東京に本拠地を置くFC ALBORADAさんが、1～2か月に一度くらいの頻度で大原の障がい者交流センターで練習をされています。 <http://fc-alborada.net/>

◆CPサッカー（脳性麻痺）

脳性麻痺の他、脳血管障害や外傷性脳損傷などの後天的な障害罹患選手も含み、杖の使用は認められていないので、自力で歩行可能な麻痺の選手が行う7人制サッカーです。

障害の程度は次のとおり4段階に分けられますが、7人のうち、必ずC5・C6クラスの選手が常に出場している状況でなければならない(いない場合は6人で試合をする)ことや、C8クラスの選手は最高2人までしかピッチに立てないなどのルールが決められています。

- C5 - 両下肢に麻痺があるが歩行可能
- C6 - 四肢に不随的な動きがあるが歩行可能
- C7 - 片麻痺
- C8 - 軽度



ASユナイテッドさんが、大原の障がい者交流センターを本拠地とされてほぼ毎週日曜日の午後に活動されています。 <http://www.asunited.jp/>

昨年ご紹介させていただきましたが、浦スポでも交流の親善試合などをさせていただきました。今後も一緒にイベントなどを行えればと相談させていただいています。

◆ブラインドサッカー（視覚障がい）

市内でも体験会などを数多く実施されているので、ご存知の方も少なくないかと思います。

さいたま市（南区白幡のFUTSALPOINT）を本拠地に埼玉T.Wingsさんが活動されています。全国制覇を狙う強豪チームです。 <http://twings.jp/>

目隠しをすると、全員が同じ条件になります。といっても。。やってみると、ふだんどれだけ視覚に頼りすぎて他の感覚が鈍くなっているのを実感します。

ここでも日本代表クラスのプレイに驚愕すること必至！

昨年、浦スポでもT.Wings所属の日本代表加藤選手にお越しいただき体験会を開催しました。今後も機会をつくっていききたいと思います。



◆知的障がい者サッカー

知的障害とは、発達期までに生じた知的機能障害により、認知能力の発達が全般的に遅れた水準にとどまっている状態を指します。知的障がい者サッカーは、国内には約5000名のプレイヤーがいるそうです。

県内では、大宮アルディージャ主催のORANGE! HAPPY! SMILE CUP!や、障がい者交流センター主催の大会（19回にもなります！）が開催され、県内から多くのチームが参加されています。



一緒に球を蹴り合うことで、わかりあえることもあると思いますし、何より、その障がいがどのようなことなのかを理解し、社会の中でともに暮らしていくための1歩として得られることは少なくないと思います。

皆さんも、交流の機会に参加してみてください！

ボーダーフリーサッカー2017

日時：3月19日

主催：（社）埼玉県脳性麻痺7人制サッカー協会

10時～ 参加型セミナー（障がい者サッカークラブをもっと身近に）

13～17時

- ・小澤英明さん（GK 鹿島、東京、新潟で活躍）によるクリニック
- ・みんなで混ざり合っのミニゲーム。

より多くの方が人生を楽しめるクラブに！

クラフト講座シリーズ 第2弾！！

テーマ：多肉植物の寄せ植え

日時：2月23日（木）11時～13時

場所：クラブ事務所

参加費：1,700円

講師：佐藤エミ子さん

定員：10名

（申し込み先着順！）

申込み：事務所に電話で！ 048-887-7140



みんなの学校づくり作戦会議 第1回！

いくつになっても卒業も引退もない学校・サークルは、まさにクラブの考え方そのもの！

地域の有志と一緒にゼロから企画をスタート！

日時：2月18日（日）10時～12時

場所：クラブ事務所

元気アップネットワークの活動の一環として提案したものです。会員以外の方でも誰でも参加可！

今年度も参加！ キッズテニス全国大会！

12月25日 墨田区総合体育館にてマナーキッズショートテニス全国小学生団体戦を行いました。

今年は3チーム7人の参加です。

結果は残念ながら3チームとも、途中で優勝チームに当たり入賞は出来ませんでしたが1-2と大健闘しました。

また次回の試合に向けて練習に励んでいきたいと思ひます。

